

## 日本の滝100選「阿弥陀ヶ滝」についての報告

<白鳥IC～阿弥陀ヶ滝（ハートピア四季駐車場）>

白鳥ICゲートを出て側道を国道156号線へ向かう。国道交差点を右折し北上する。長良川上流沿いに国道をドライブ、左手に白山長滝神社の社殿をみたら、間もなく左斜め、石徹白（ウィングヒルズスキーリゾート）方面へ、峠道（車幅は有）をしばらく進むと、左阿弥陀ヶ滝の看板が、これは乗用車で大型車は段上のハートピア四季へ向かう。

**【距離14km、所要時間25分（観光バスの場合は上りパワーロスを見込むため）】**

<ハートピア四季>

公営の宿泊施設で大型車駐車可（5～6台可）、場内に屋外トイレあり。



<阿弥陀ヶ滝へ向かう>

ハートピアの駐車場左手を谷に向ってなだらかなスロープが降っている。降り切ったところを右折しすぐ小橋を渡って左手の谷沿いに舗装路を進む。谷沿いの舗装路を進むと阿弥陀ヶ滝入口の滝茶屋が見えてくる。道路左手には公衆トイレもある。（ここまで600歩）

滝茶屋の奥が阿弥陀ヶ滝散策路入口となり、案内看板が設置されている。散策路は山腹路と谷道の2通りあり、山腹の道のほうが歩きやすい。谷道は溪流沿いの気持ちよいルートだが、上り階段が濡れているため、もしご案内するとしたら登りのみで利用して欲しい。



<今回は山腹ルートを登り、谷沿いに帰った。>

散策路入口にある阿弥陀ヶ滝の縦長の看板わきにあった赤い矢印（登りやすい）を信じて山腹路へ、歩き始めてすぐ、左手に湧水とお地藏さまがある。なだらかな石畳の散策路を進むと左手下に美しい溪流が流れている。滝近くの社殿が見えてくると、右側からの谷奥にも滝が見えてくる（名称不明）。社殿奥の木の間から阿弥陀ヶ滝がその水音とともに近づいてくる。散策路に入って約8分、ついに目前に阿弥陀ヶ滝の全貌が現れる。落差60m、圧倒的な迫力に息をのむ。まさに名瀑、滝口周辺は明るく開けており、40人ほどがたまって大丈夫な程か・・・。

谷沿いの道を帰るのには、滝を背に右手に進む。振り返りながら見ると、木の間越しに見える阿弥陀ヶ滝がとても美しい。谷に沿って下ると、少し急な石段を降る、谷沿いのため石段が濡れていて滑りやすいため、注意して降りる。左手には素晴らしい滑滝が望めて気持ち良い散策路ではあるのだが・・・。



阿弥陀ヶ滝から約7分で、滝茶屋へ到着。舗装路をハートピア駐車場へと向かうことに。駐車場から阿弥陀ヶ滝、そして駐車場へもどる。所要時間は約40分（滝口で少し遊んだ）阿弥陀ヶ滝をゆっくり堪能するには60分あったほうが良いと感じた。

<ハートピア四季～高鷲IC>

駐車場を出て峠道を降る。下りきったら左折し、国道156号線に合流する。また長良川上流にそって国道を北上すると、左手に高鷲観光案内所を見てすぐの交差点（歩道橋がある）を斜め右、高鷲市街地へ入る。（道路表示は高鷲IC直進となっているが、3kmほど遠回りのため、市街地を抜ける）進入してすぐ右折し、信号を右折して高鷲ICへ。



**【距離10.5km、所要時間15分】**